



# 教会報ほんじよ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2 TEL: 03-3623-6753 FAX: 03-5610-1732  
http://www.catholic-honjyo-church.org

## INDEX

- 「浅春」  
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「司牧評議会からのお知らせ」
- その他
- 「日本二十六聖人殉教者祭」



### 「浅春」

主任司祭 パウロ 豊島 治

三月のご挨拶を申し上げます。四旬節は二月十四日にはじまりましたので、今月末が復活の主日となります。準備はどうでしょうか。

二月四日に行われた、二十六聖人殉教者ミサは珍しく曇まじりの雨模様の中で行われました。奉仕の皆様にご感謝です。

実は今年の殉教者ミサを前にして一つのニュースが入ったのです。当日の六日前、主式の大司教様から訪日中のアンゴラのゼフェリーノ大司教様が共同司式されるといわれたのです。司祭集会での挨拶を聞くかぎり日本語、英語はちょっと得意ではないかもしれないという別の情報があり、スペインにて叙階されたこのことで、聖堂前に掲げる二十六聖人の説明も急遽英語・スペイン語ミックスに作り替えました。

例年式次第に記載している二十六聖人の紹介もわかりやすい英語に訳し揭示してお迎えの準備。

司式者用のミサ式文もスペイン語を用意しました。これには麹町教会の神父様方にお世話になりました。お迎えする万全の体制が構築されました。

結果を述べますと、東京教区司祭集会後、ゼフェリーノ大司教様は同郷

の司祭とつながりができて、その方の担当している教会の主日ミサに行かれるということでした。多様性の一致を示す教区において、多言語のミサの積み重ねはよい実りをもたらすでしょう。

濡れた多言語の掲示板をミサ後眺めてみると、思考する手間はかかるけど「豊かさ」を感じました。多様性の一致を示す教区において、多言語のミサの積み重ねはよい実りをもたらすでしょう。

もう一つ報告があります。

二月二十日には東京教区人事異動が発表され、二十五名の司祭の新しい任命が公示されました。その中には八年間にわたって、浅草教会と上野教会の主任司祭を務められた晴佐久神父さまが含まれています。本所教会を含めた三教会は秘跡、信心業への共同の取り組みをしてきた間柄です。復活祭が早いので本所教会で直接お礼を申し上げる機会はありませんが、共同の取り組みに関してご理解いただき感謝しています。

さて、晴佐久神父様と私豊島神父は前任地が同じです。その前任地にあったオルガンが二月二十四日、本所教会内陣に置かれました。

一九七二年に創立されたその教会のはじまりは、特定の場所をもたず信

徒の家を転々と主任司祭とともにミサをつないできました。

ついに借家から拠点を得たとき工場を経営していた信徒の方がリードオルガンを購入し寄付したのです。それから彼は数十年オルガン奉仕をしながら大切にしてきました。しかし、時代の流れでしょう、電子でスピーカー付きのオルガンが導入され、聖堂の横に置かれることが多く、年に一回高齢者のミサで使われるのみになってきました。

いよいよ、捨てようとなったとき、晴佐久神父様にオルガンは託され（メンテナンス済みです）、しかも人事がでて、どうするのかということになったとき、本所教会のオルガンも音が出ないことがあり、この機に第二オルガンとして本所教会で使うことはどうかという緊急諮問をし、会長、副会長、典礼の担当での審議で設置がなされました。第二のオルガンなのでいつもミサで音色を聞くことはないと思いますが、本所の木造の教会と木製のオルガンの相性はよさそうです。

今月は四旬節の結びの月となりますが、四旬節の意義については、教皇様、大司教様がメッセージをお出しになられているのでそちらを参照ください。

皆さんの隠れた準備も復活の時、大きく咲きますように。